

積極的な受験生活を送ろう

—受験までの過ごし方—

開倫塾

塾長 林 明夫

1. はじめに

県立高校入試まであと1ヵ月足らずとなりました。そこで入試直前の1ヵ月をどのようにすごしたらよいかを今日は考えてみようと思います。

2. 学校での生活

言うまでもなく中学3年生の3学期は9年間の義務教育の最後の学期です。義務教育終了間際(まぎわ)の1、2ヵ月ですので、卒業式をはじめ卒業に際しての色々な行事があります。仲良くなった同級生や後輩、お世話になった先生方と学校ですぐすのももうわずかです。そこで、少なくとも学校にいる間は、中学3年生としてしなければならないことは手を抜かずできるだけ積極的にすべきと思います。又、卒業後、色々な人間関係が生まれますが、やはり学校時代の友達・恩師との再会は格別なものです。ですから、この際積極的にみんなと仲良くなるよう努力するのもこれからの人生を充実させる上で非常に有益です。「今まで余り話したことのなかった同級生、後輩、先生方、学校の職員の方々と毎日少しでもよいから話しをして、できるだけたくさんの仲良しを卒業までにつくること」を是非卒業までの目標にして下さい。「一度仲違(なかつが)いをした人とももう一度仲良くなるよう努力すること」も大事かと思います。

してもらいたくないことは、「受験の上での悩みや、グチ、心配」をえんえんと学校内で話題にすることです。「受験勉強」はすればいいだけで、試験での点数が上昇すれば合格することは判り切っています。どうやればよいかも、ラジオの「開倫塾の時間」では毎回放送していますし、塾や学校の先生も適切なアドバイスはしてくれると思いますので、アンテナさえはってれば十分わかります。「不安だ、不安だ」と友だち同志でいい合っていると、話しに加わっている人みんなが動揺し、集中力を欠き、それがもとで成績が下がることすらあります。「悩んでばかりいても成績は上がらない。悩むひまがあったら勉強しよう」と是非言ってあげて下さい。

3. 塾での生活

開倫塾は昭和54年に創設された学習塾ですから今年で12年目になります。10年間ひたすら高校入試でどのようにしたら全塾生合格できるかを考えてきました。本年は500名の中3生が開倫塾で学んでいますので、全員に希望高校に合格してもらいたいと80名の教職員全員が一丸となって努力しています。教職員のチームワークが非常によい塾、塾の教職員になりたい人が年間4、500名余り訪れる塾として学習塾の関係者には知られています。県立高校の合格率も毎年95%と好調です。どこにも行けない子は出しておりません。

そこでお願いしたいことは、是非信頼して受験の前日まで開倫塾の指導の通り学習してほしいと

ということです。年間を通して非常に綿密なカリキュラムが組まれています。中でも受験直前は、大量の問題練習による応用力・得点力確保のためのプログラムが用意されています。どうか安心してついてきて下さい。

よくわからないところが少しでもあったら授業後先生にどんどん質問をして下さい。遠慮は無用です。塾の先生は受験生が希望校に入学してくれることを最大の喜びとしますので、わからないところがあつたらわかるまで必ずお教えします。全員の先生が受験の専門家・受験のプロですので、各科目についてどこが出題され、どのように勉強したらよいか熟知しています。勉強方法でわからないことがあつたら、これまた遠慮なし、授業時間外に質問して下さい。要するに受験勉強について少しでもよくわからないことがあつたら、開倫塾の先生にどんどんたずねてほしいということです。

入試前日には出陣式があります。「合格祈願勝ドン」を先生方と食べ、入試での心構え等の指導をうけます。最終日まで欠席することなく開倫塾に通い通して合格を勝ち取って下さい。

4. 家庭での生活

規則正しい生活が何よりです。毎日決った時間に起き、決った時間に床につく。ほぼ決った時間に決った場所で勉強し、決った時間にフロに入り、休み時間をとる。受験勉強で大事なものは、心と体の健康をくずさないことです。できるだけ規則正しい生活を心掛けて下さい。

但し、いくら規則正しい生活が大事と言っても、午後4時半に帰宅し6時半までTVを見、夜10時半から朝7時半まで眠る。勉強は塾に行く日だけ、というのでは余りにもおそまつすぎます。帰宅後、少し休んでから塾に行くまでの時間は不得意科目を毎日2時間は勉強する、塾のない日はTVにかじりつくことなく、塾で勉強していると思って塾での学習の予習や復習をする、塾がある日も帰宅後少し休んでから、1～2時間は机に向う、日曜日は一日中力をつけたい科目を学習する、学校行事等で早く学校が終る日は、友だちと遊ぶことなく早く帰宅し、机にむかう等々。様々な工夫をして勉強主体の家庭生活をして下さい。与えられた時間は24時間。学校での充実した義務教育最後の教育、開倫塾での入試傾向にピタッと合致した受験勉強、家庭での自己学習の三者がピタッとかみ合えば、最高の意義ある日々が送れると信じます。

受験勉強を支えてくれるお父さん、お母さんはじめ家族の方々に感謝の心をわすれずに。

5. 日本の受験生活は自分の未来を切り開くため好きなだけ勉強できて幸せだと考えます。

試験さえ合格すれば自分の希望するどんな高校にも合格できる。各種奨学金制度もかなり整備されている日本の受験生は幸せです。世界中に上級学校で勉強したくてもその機会が与えられず、希望がかなわない若者が何億人もいるからです。学校の他に塾やいろいろな習いごとに行ける日本の子どもは、世界中で最もきめこまかな水準の高い教育を受けているのもいろいろな国を視察した結果思います。徴兵制度がないため学卒者が直ちに企業内研修が受けられるのと、国民の基礎学力が世界一高いこと、全国民一所懸命よりよいものを求めて自らの仕事を全うしようという勤勉さに支えられて、日本の今日の繁栄があるものと信じます。高校入試には、世の中に出て役に立たないものは一切出題されません。すべて社会人として必要不可欠なものばかりです。あやふやであった知識を受験勉強を通して確かにしていくことは人生を充実させる上で有益です。受験勉強は被害者意識とするのではなし、自分自身をみがき自分自身の未来を切り開くために行うべきと考えます。